

人権講演会開催～人権落語会とJazz 演奏～

11月10日(日)フラワータウン市民センター大ホール
＝弥生校区地域人権教育協議会、自治会健康推進部、ふれあい委員会＝

～みんなで育もう 地域の輪と絆～を合言葉に人権協議会、健康推進部、ふれあい委員会の3団体共同主催で始めた人権講演会も今年で5年目となりました。(参加者110名)

地区内の行事を中心に活動されているジャズグループ(富士が丘地区で誕生の SundayJazz 倶楽部)の演奏で開演。

続いて、林家染太さんの人権落語。染太さんは中学時代、壮絶ないじめを経験され、その経験をもとに人権問題に関する講演(命の大切さ、いじめをなくす方法、夢を追う大切さ等)を全国各地で、又、英語、フランス語、スペイン語による落語を世界各地で開催。

染太さんのお話をお聞きし、いじめの解消は、絶対に一人で抱えこまず、心を開くこと。まずは家族の理解そして学校、教育委員会、地域が一丸となって取り組む事が重要であることにあらためて気づきました。講演の後、紙芝居やクイズ形式の小話も取り入れた創作落語。あまりの面白さに会場は大爆笑。絶妙な染太さんの落語に時間が経つのを忘れた楽しい一時でした。最後は南京玉すだれを使った余興で締め括られました。



＝林家染太さんプロフィール＝

- ・1975年10月5日生まれ 愛媛県松山市出身
- ・関西大学卒業後、4代目林家染丸に入門
- ・繁昌亭若手落語家コンテスト、グランドチャンピオン大会優勝(初代チャンピオン) 上方落語協会主催「噺家演芸コンテスト」優勝
- ・現在、天満天神繁昌亭をホームグラウンドに、全国各地で落語会開催
- また英語、フランス語、スペイン語による落語会を世界各地で開催



ラブピース

(参加者からの声)

- ・人権学習というとハードルが高く、難しいと思っていたが、今回のように楽しく学べることが分かりました
- ・「いじめ」は決して他人事ではない。自分事として、いじめの解消に向け行動すべきと気づきました

阪神地区人権研究大会(7/27)と兵庫県人権研究中央大会(9/29)に参加・報告

＝事務局 西中孝夫＝

三田市人権共生推進課の推薦で、「三田市人権を考える会」を代表して「阪神地区人権教育研究大会」(7/27 伊丹市、参加者830名)に参加し弥生校区人権協議会の取り組みについて報告してきました。審査の結果、発表された36団体中地域の部で阪神地区代表に推薦され「兵庫県人権教育研究中央大会」(9/29 赤穂市、参加者1200名)に出場し報告してきました。



赤穂市文化会館(ハーモニーホール)



この事は、当協議会が長年、継続した人権研修会の実施や人権標語の提出などの取り組みが高く評価されたものと考えます。今後共、地域の人権課題に積極的に取り組み、住民同士の思いやる気持ちが育まれ、安心・安全で住み良い地域になる様、活動してゆきたいと思えます。

※発表は「パワーポイントレジュメ」で行いました。レジュメをご希望される方は、弥生が丘コミセン(079-562-0434)に連絡ください。コピーをお渡しします



三田市人権を考える会 マスコットキャラクター